



KAKUNOSHIN OHTA
RACE REPORT

2023 SUPER FORMULA Rd.7
2023.08.19-20 MOBILITY RESORT MOTEGI

はじめに

徐々に上向きになっている流れが顕著に表れた富士大会から一ヶ月のインターバルを挟み、第7戦茂木大会が開催されました。全戦の予選では3位グリッドを獲得でき、決勝でも良いペースで走っていたことから、今大会は今までで一番の自信を持って挑みました。

8月19日(土) フリープラクティス

いつも通り、前戦からのインターバルでチームと共に考えてきたセットアップを確認する作業を進めていきました。スーパーフォーミュラで茂木を走るの今回は初めてでしたが、シーズン前半に比べると格段にサーキットへの対応能力が上がっていると実感しており、すぐにチームメイトと同じレベルのタイムを記録できるようになりました。マシンバランスは走り始めから悪くなく、その後に施したセットアップも概ね想定通りのフィードバックを得られたので、良い公式練習になったと思います。タイム的には4番手でセッションを終了し、予選に向けて期待感の高まる内容でした。

8月19日(土) 予選(2位)

公式練習後にチームと多少のセット変更を行い予選に臨みました。公式練習での結果から、まとめればQ1は通過できると考えてミスが無いように心がけました。その結果Q1を4位で通過しました。まずまずのラップだったので3位以内だろうと思っていたので、そこは想定外でしたがそこからQ2に向けてマシンに微妙なアジャストを加えていきました。Q2では、Q1以上のドライビングと、施したセット変更が上手くはまり、フロントローの2番手を獲得することができました。今期最上位を獲得できてよかったと思いますし、前戦の富士で反省点として挙げていた、Q1からQ2へのセット変更も今回は上手くすることができたので内容としても満足できるものとなりました。

8月20日(日) 決勝(DNF)

初めてフロントローからのスタートとなった決勝は、予選の結果とは裏腹に本当に残念な内容になってしまいました。スタートで出遅れてしまった上に、その後のピット作業でタイヤ交換から発進してきたマシンと接触してリタイヤとなりました。優勝も狙える位置からのスタートだったので、このような結果になってしまい本当に申し訳ない気持ちです。速さは確実に見せられてきているので、あとはしっかりと強い走りを最終戦でしたいと強く思っております。

おわりに

第7戦茂木大会は確実な進歩を実感できた反面、まだまだ強くないといけないということを強く認識する大会になりました。チームと共に開幕戦から積み上げてきているものは、間違いなく発揮できてきていますし、最終戦は予選も決勝も上位で終わられるようにこれからまた準備していきたいと思っております。

今大会もありがとうございました。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



